



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第9号

令和6年(2024年) 8月7日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



「心」にたっぷり汗をかく夏休みに！

夏休みに入って、あっという間に2週間が経ちました。今年も暑い暑い夏休みです。錦中生のみなさんは元気に過ごしていることと思います。ところで、みなさんにとって、今までの「夏休みの思い出」とはどんなことでしょうか。

私の思い出は中学生時代の「部活動等の練習」です。野球部に所属していましたが、夏休みの練習がきつかったことを覚えています。当時は練習中に一切水分補給をしてはいけないという指導がされていました。現在では考えられないことですが、そうでした。トイレに行く振りをして手を洗い、手に付いた水をなめる、そんなことをしていました。野球部の練習が午前中で、午後(夕方)から臨時の陸上部の練習をしていました。夕方とはいえ、これが暑い中、走るので本当にきつく、逃げ出したい心境になっていました。1・2年生の頃は、家族旅行とか何か理由を見つけては休んでいたように思います。

しかし、3年生の時は、野球部では副キャプテン・レギュラー、臨時の陸上部では学校の代表としての自覚が芽生え、夏休みの練習を休むことなくやり切ることができました。野球部では残念ながらよい結果を出すことはできませんでしたが、陸上の方では、個人競技・リレー・団体総合で市内第1位となり、すてきな「夏休みの思い出」となっています。

夏休みは猛烈な暑さとの戦いです。それは、「自分の心の中の弱さ、ずるさ、甘さとの戦い」でもあります。錦中生には、この夏休みに「これだけは何が何でも絶対にやり通す」というものをしっかりもって過ごしてほしいと思います。ひたむきに何かに打ち込んで心にもたっぷり汗をかく夏休みになることを願っています。体と心が成長する「すてきな夏休み」に、「すてきな夏休み」を経験できれば、「すてきな大人」へまた一歩近づくはずです。やればできる!君たちならできる!

夏休みに期待すること～保護者のみなさまへ～

夏休みに入り、錦中生は保護者のみなさまのもとでの生活が中心となります。学校が休みになって子どもたちの成長には休みがありません。ご家族のみなさんで、どのような生活をしていくのかを話し合い、それに基づいた生活をしていただけたらと思います。

私の考えを少し述べてみますので、その際に参考にしていただけるとありがたいです。

1:「水難事故、交通事故、その他の不慮の事故ゼロ」の夏休みにするための心得を身に付けさせてほしい

夏休みのしおりの中に「夏休みの生活心得」を載せています。再度熟読し、話し合いの資料として活用してください。特にルールを守ることは自分の命を守ることに繋がることをおさえてください。

2:「子どもたちにできることは、できるだけ子どもたち」にさせてほしい

ちょっとした無駄や不手際を気にしないで家族の一員として役割を分担し、家族のためになることをさせてください。「人間は認められれば、その名に恥じない行動をとるもの。子どもたちは、認められ、信頼されるとき、自分でやる気を起こす」ものです。朝自分で起きる習慣を身に付けるには、夏休みは最もよい時期だと思います。甘えを許さず、自立を促し、ちょっぴり大人扱いをし、できたら褒める。「手を離せ、目を離すな」精神でお願いします。

3:地域活動に積極的に参加させてほしい

子どもたちは、社会のあらゆる場で育てられる存在です。「感動ある体験」を求めて、いろいろな場に参加させてください。地域において、様々な行事があります。「地域の一員」「地域の担い手」であるという自覚をもたせてください。「かけはし第8号」で紹介した「校長からの3つの課題」をご家庭で話題にしていきたいと思います。

4:「人間としての生きざま」を伝えてほしい

社会生活をしていくためのマナーをその場、その場で伝えてください。そのためには「子どもは親の言うとおりはしない。親のするとおりにする。」とも言われますから、親が範を示すしかありません。「ゴミを落とさない。」ではなく、「ゴミを落とそうとしている心をとがめ、落ちているゴミを見て、心が痛み、拾える。」そんな心をもった子どもたちに育てたいものです。

5:「学習は毎日計画的に行う」習慣を身に付けさせてほしい

長い夏休みを利用して、毎日計画的に学習する習慣を身に付けさせてください。特に「復習」に力を入れ、自ら学ぶ力を育てるために「変心ノート」を活用してほしいと思います。3年生は進路の選択・決定が近づいています。進路のことについて、真剣に話し合い、将来の夢や自分の志を実現できるよう、夏休みを有効に活用してください。

6:「読書」をさせてほしい

自由な時間のある夏休みを利用していろいろな本を読むようにさせてください。吉田松陰先生は「今日の読書こそ、真の学問である。」と言っておられます。子どもたちがすてきな大人へ成長するために読書の習慣を身に付けさせてください。読書ができない大人になってしまった私からの反省をこめてのお願いです。

7:「戦争」「平和」について考える時間をもってほしい

8月6日は広島に、8月9日は長崎に原爆が投下されました。終戦を迎えたのが8月15日です。夏休みは「戦争」「平和」について考える大切な時間なのではないでしょうか。終戦から今年で79年になります。戦争を知らない世代が多くなってきているからこそ、家庭で考える時間をもってほしいと強く思います。

これから残りの夏休みが親子のふれあいが深まり、子どもたちの主体性が育つ、親子共々意義のある「すてきな夏休み」になりますよう期待しています。

体も心も一段と育って

2学期が迎えられますように！！